

『向島の豊かな自然と生きもの』

第51回 ウンチを食べる虫 “フンコロガシ”

虫探しの楽しさに、珍しい種だとか大きいとか、キレイとか、採集の時に水の中に入ったりとか、多く発生するけど採集がむずかしいとか…だから虫を見つけ手に入れた時の感動が大きい。そういう楽しさに加えて、虫の世界はとても広くて深く、趣味として始めてみただものの、正直おおしょうしょうる。

その虫の生態を知れば知るほど、おかしくて楽しくて愉快で難儀で分かりにくい世界。虫と植物・虫と動物・虫とキノコ・虫とバイキンとの関係などなど…こんな事ゆうとったら虫の世界で迷子になり戻ってこれないかも…

前置きが長くなりましたが、フンコロガシ！！
虫の展示ではすでに2回も展示しましたが、この度はこのかわいいフンコロガシを大きき順に並べてフンコロガシの進行！！

ま、進行といってもグニャグニャと曲がりくねっています。真っ直ぐ進行させたんじゃ、この虫の愉快的な生態(虫たちは真剣に生きている!?)を想像するにはちょっともの足りん。

そーです。この虫達は動物のウンチを食べて生きている。子育てもウンチの中。ウンチっておいしい?って考えてみたら、多分この虫達には大ごちそうだと思ふのです。ウンチの話をもう少し。動物はみなウンチをする。地上でも海の中でも、空を飛びながらでもそこら中にウンチをする、ウンチだらけの地球。

象のウンチを食べる大きめのフンコロガシ、そのフンコロガシを食べるトカゲやトリやサルたちもウンチをする。

またそれを食べる小さめのフンコロガシ。そのウンチを食べるもう少し小さなフンコロガシがまた小さいウンチをする。それを食べる地中の微生物。葉っぱを食べたイモムシやケムシがまたウンチをする。そんな食ベカスやウンチが大地の土となって…

あー！この愛しき虫！フンコロガシ！いつまでもいつまでも永遠なれ！

～ 花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ+ ～
つるかめクラブ 江頭 正